

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	HMGS 特注増殖添加剤セット
製品名(製品コード)	HMGS 特注増殖添加剤セット(KM-6350)
SDS整理番号	KM6350_J-2
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラブウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 ライフサイエンス部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	ライフサイエンス部 バイオ営業課 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	正常ヒト細胞培養用増殖添加剤、研究専用

2. 危険有害性の要約

本添加剤セット中のPMAの溶媒に使用されているジメチルスルホキシド(CAS番号: 67-68-5、濃度約100%)について

GHS分類 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

臓器の障害のおそれ(呼吸器)

注意書き 安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。取扱後は手をよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

注意書き 応急措置

ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

注意書き 保管

施錠して保管すること。

注意書き 廃棄

法令に従って廃棄すること。

その他の危険有害性

適当な保護衣、手袋及び眼・顔面用の保護具を着用する。皮膚及び眼との接触を避ける。

眼と接触した場合は、直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。

事故の場合又は気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。(可能であればラベルを示すこと)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

本添加剤セット品には、以下の各成分(①~⑧)の溶液が個別に分注される。

成分名	CAS No.	溶液濃度	化審法番号
①ウシ脳下垂体抽出液(BPE)	-	-	-
②ウシ胎児血清(FBS)	-	-	-
③ヒト組換え型塩基繊維芽細胞増殖因子(hFGF-B)	-	3 µg/ml	-
④ヒドロコルチゾン21-ヘミコハク酸ナトリウム塩	125-04-2	0.24mg/ml	9-1007
⑤ヒト組換え型インスリン	11061-68-0	5 mg/ml	-
⑥トランスフェリン	11096-37-0	5 mg/ml	3-4369
⑦PMA : 溶媒に100%ジメチルスルホキシド使用	16561-29-8	10 µg/ml	-
⑧ヘパリンナトリウム	9041-08-1	3mg/ml	1-69

*これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

ジメチルスルホキシド(令和8年4月1日施行)

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

ジメチルスルホキシド(令和8年4月1日施行)

以下の3から16は、ジメチルスルホキシド(CAS番号 67-68-5)として記載しました。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	化学物質
化学名又は一般名	ジメチルスルホキシド
分子式(分子量)	(CH ₃) ₂ SO
CAS番号	67-68-5
濃度(含有量)(%)	>98.0
化審法番号	(2)-1553
GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物	なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸が弱かったり止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。必要に応じて医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水と石鹸で洗う。必要に応じて医師に連絡する。
眼に入った場合	直ちに水で最低15分間洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。速やかに医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡する。吐かせてはならない。水で口の中を洗浄する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	知見なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	ゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	知見なし

5. 火災時の措置

消火剤	
適切な消火剤	散水、水噴霧、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の特有危険有害性	火災の際、熱分解又は燃焼により刺激性及び/又は有害性の強いガスが発生するおそれがある。
特有の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は、風上から行う。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起さないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 着火源を排除くとともに換気を行う。 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。 危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。 取り扱いは、密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。 寒冷時に凝固することがある。半熔融状態で容器を揺すったり、内容物の攪拌をしない。 火気を避ける。 適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
安全な保管条件	
技術的対策	保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作る。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けない。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とする。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためすを設ける。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の

<p>混触禁止物質 適切な保管条件 避けるべき保管条件</p>	<p>設備を設ける。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 直射日光を避け、なるべく涼しい場所に容器を密閉して保管する。 混触危険物質から離して保管する。 火気を避ける。 ガラス等。</p>
<p>安全な容器包装材料</p>	

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

化学名	管理濃度 (作業環境評価基準)	許容濃度 (日本産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ジメチルスルホキシド	未設定	未設定	未設定

設備対策

屋内作業上での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置に明瞭に表示する。

保護具

<p>呼吸器用の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p>	<p>防毒マスク(有機ガス用) 不浸透性の手袋 保護眼鏡または安全ゴーグル 不浸透性の保護具(前掛け、長靴、保護衣など)</p>
---	---

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色(液体の状態での色調)	無色
臭い		無臭
pH		情報なし
融点・凝固点		18°C
沸点、初留点及び沸騰範囲		189°C
引火点		95 °C (o.c.)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		59.4 Pa (20 °C)
蒸気密度(空気=1)		情報なし
密度及び/又は相対密度		1.101 g/ml (20°C)
相対ガス密度		2.7
溶解度		水に対する溶解性: 極めて溶けやすい 溶媒に対する溶解性: エタノール及びジエチルエーテルに極めて溶けやすい
n-オクタノール・水分係数		-1.35
自然発火温度		215°C
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		情報なし
爆発範囲		下限: 2.6 vol%、上限: 42 vol%
粒子特性		知見なし
その他のデータ		吸湿性がある

10. 安定性及び反応性

<p>反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害性のある分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素及び水を除く)</p>	<p>知見なし 予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。 酸化剤と接触すると反応することがある。 日光、熱、湿気、混触危険物質との接触 酸化剤 硫酸化物</p>
--	--

11. 有害性情報

(この物質の、人の健康への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)

急性毒性	経口	ラット LD50 14500 mg/kg
	経皮	ラット LD50 40 g/kg
	吸入(気体)	情報なし
	吸入(蒸気)	情報なし
	吸入(ミスト)	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		情報なし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	情報なし	
感作性	呼吸器感作性	情報なし
	皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし	
発がん性	情報なし	
生殖毒性	情報なし	
標的臓器毒性(単回ばく露)	臓器の障害のおそれ(呼吸器)	
標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし	
吸引性呼吸器有害性	情報なし	
その他	情報なし	

12. 環境影響情報

(この物質の、自然環境への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)

水生環境有害性(急性)	情報なし	
水生環境有害性(長期間)	情報なし	
生態毒性	魚類	魚類(ヒメダカ) LC50/48H 33000 ppm
	甲殻類	情報なし
	藻類	情報なし
残留性/分解性	難分解性 3.1% by BOD	
生体蓄積性	蓄積性がないまたは低い	
土壤中の移動度	情報なし	
オゾン層への有害性	情報なし	

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規則	
陸上輸送	規制なし
海上輸送	規制なし
航空輸送	規制なし
国連分類	非該当
国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
国内規制	
海上規制情報	規制なし
航空規制情報	規制なし
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	-

15. 適用法令

化審法	非該当
労働安全衛生法	
特化則	非該当
有機則	非該当
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物	名称表示危険/有害物(規則別表第2の1035,令和8年4月1日施行) 名称通知危険/有害物(規則別表第2の1035,令和8年4月1日施行) 皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当
毒物および劇物取締法	非該当
消防法	危険物第四類引火性液体第三石油類 水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1);(指定数量) 4000L
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚せい剤取締法	非該当

化学兵器禁止法

非該当

16. その他の情報

参考文献、URL

EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
国際化学物質安全性カード (ICSC)
MERCK INDEX
化学大辞典 共立出版社
The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
<http://www.safe.nite.go.jp/> (独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合検索システム)
化学品総合データベース 日本ケミカルデータベース(株)
GHS分類結果 (NITE)

改訂履歴

2024年6月10日作成
2025年10月10日改訂

記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 ライフサイエンス部

本データシートは製品(混合物)の一部組成である試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、最新の情報を記載するように努力しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。今後、新たな情報を入手した場合には、本データシートは改訂されることがあります。記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。製品は、in vitro研究専用試薬であり、それ以外の特殊な条件下では使用しないでください。